

会議名：グループホーム ハーブの里 地域連携推進会議

日時：令和8年3月25日（水）10時30分～12時10分

場所：すてっぷリビング

出席者：利用者I様、

利用者ご家族K様ご両親

地域民生委員I様、後見人Y様

社会福祉法人かむ 理事長 K様

ハーブの里・ポプリの里 所長 M

ハーブの里・ポプリの里 サービス管理責任者 H

1.開会のあいさつ

出席者の方へ、本日もお集まりいただいたことへのお礼を伝えた。

また、地域連携推進会議の目的について参加者と確認を行った。

2.出席者の紹介

出席者一人ひとり、事業所との関わりを含めて挨拶をしていただいた。

3.議題

①グループホームハーブの里について

ハーブの里と併設するショートステイ「ポプリの里」について説明。

ハーブの里の特色として、(1)年中行事を大切にしている。(2)ご家族が集まる機会を積極的に作っている。(3)ご家族にも行事を手伝って参加いただいている。(4)年に1回、2泊3日の利用者旅行を行っていることを、活動の様子のスライドを見てもらいながら説明した。

②利用者様の休日の様子

利用者さんの平日のスケジュールの説明と、本日出席していただいている利用者様の休日の様子を、スライドを見てもらいながら説明した。

(自宅へ帰宅したり、ヘルパーさんと外出(映画やスポーツ観戦など)したり、近隣の本屋さんへ買い物に出かけるなど)

③ヒヤリハット

ハーブの里でのヒヤリハットの発生状況を説明した。通所先への出発時、道路に飛び出そうになり安全確保をしたヒヤリハットや、発作によって転倒しそうになるなどのヒヤリハットが多く、安全確保が課題。

④経営状況、職員体制や課題

別紙資料を元に、経営状況について説明しました。

職員体制は、職員確保が課題。職員が不足している。グループホームの勤務は大変と言わ

れており、人手が足りない状況ではあるが、隣のすてっぷ・じゃんぷと協力して、常勤が年に1回1週間必ず休みを取ってもらうようにしている。

完全同性介助となっているが、夜勤者は一人配置のため、3施設（すてっぷ・じゃんぷ・ハーブの里）の夜勤者が緊急時に協力する体制をとり、毎日夜に顔合わせを行っている。年末年始や夏休みは、通所先が休みのため、日中の対応も必要になる。日中は、3施設の職員で協力して利用者対応を行っている。

4.質疑応答

◆利用者ご家族様より

近隣からクレームが来たりはしないのか？

⇒朝や夕方を送迎ラッシュ時に、通所の送迎車が路上駐車をしてしまうことがあり、路上駐車に関しての苦情をいただくことがありましたが、それ以外の苦情は今現在特になく、ご近所の方たちに温かく見守って頂いています。

◆民生委員様より

年齢が上の方（高齢の方）の入居はあるのですか？

⇒65歳以上の方は、介護保険が優先になってくるので、新規での入居はあまりないと思います。ハーブの里は、エレベーターがないので、階段が上げられなくなってしまうたり、医療行為が必要になった場合、その方に合う別の施設へ移ることになります。

医療面では、こういった支援をしていますか？

⇒月に1～2回、訪問看護師が来所して、利用者さんのバイタルチェックや、健康相談を受けてもらっています。

また、必要な通院同行は、職員が行っています。

今回、グループホームがこういった施設なのか説明いただいたことを、この地区の民生委員3名と共有したいと思います

5.閉会のあいさつ

6.施設見学

閉会后、ハーブの里・ポプリの里の施設内を見学していただいた。

以上